

## 2021年度 事業報告

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会（以後、市同教）は、発足以来、「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。そして、「日本国憲法」や「世界人権宣言」の人権尊重の精神を大切にしたい社会づくりの理念を掲げ、活動を進めてきました。

今年度の市同教活動は、昨年につき「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により、多くの制約を受ける中での活動となりましたが、昨年の活動を参考に方策を講じ、できるだけ実施する方向で取り組みました。

2021年度活動の基本方針並びに活動方針・事業計画等活動骨子の決定に際し、理事会での提案、その後の総会での決定等々も昨年と同様に書面決議により今年度の活動へと繋がらせていただきました。また、ご質問意見等につきましては適切に対応させていただき、ご理解いただきました。

しかしながら、以後も「新型コロナウイルス感染症」は終息には至らず、制約の中での活動となりました。「人権の灯は消してはならない」の思いで、昨年は啓発冊子の全戸配布で実施に代えた研究大会は、今年度、「人権の歴史を学び今に生かす」を大会テーマとし、感染防止の観点から全体会の基調講演のみ実施しました。「いま改めて部落史に学ぶ」の演題で、外川正明さんにご講演いただき、「水平社を立ち上げた人々の思い」を主に学習しました。当日は想定以上の皆様の参加を得て、感染防止対策面での反省もあり今後に生かしたいと思っております。

昨年実施できなかった「人権・同和教育セミナー」は、開催日の変更や感染防止対策を講じる中で、5回実施予定のうち4回まで実施することができ、正しく理解することや系統的な理解の大切さを学習できる研修となりました。

昨年は実施できなかった「みんなの人権を考える映画会」は感染防止対策を講じて、ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします」を上映し、家族の愛などの感動と共に高齢者介護のあり方について考えることができました。

毎年きめ細かく研修を進めていただいていた九つの専門部会の活動は、研修を実施できた部会、できなかった部会があり、昨年と同様に制約の中での活動となりました。また、現地学習のフィールドワークはバスでの移動等のため感染拡大防止のため実施できませんでした。

このような中、市同教と市民の皆様とをつなぐ情報誌の「人権・同和教育だより丹波篠山」はコロナ禍にあり有効な啓発誌と位置付け、内容に工夫し、市同教活動の理解に努めました。

2年続きのコロナ禍のなか、改めて市同教活動は市民の皆様と相対し、双方向で啓発・研修を進めていくことで内容理解や深化に繋がることを再確認しました。「人権・同和教育実践の灯を燃やし続ける」ためにも新型コロナウイルス感染症の終息を願います。そして、市同教活動をさらに推進していきたく思います。今後とも市民の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

## 1 丹波篠山市人権・同和教育研究大会

①日 時 2021年12月11日(土) 14:00～16:10

②場 所 四季の森生涯学習センター 多目的ホール

③参加者 319人

④テーマ 「人権の歴史を学び 今に生かす」

○基調講演「いま改めて部落史に学ぶ」

～DVD「水平社を立ちあげた人々」を視聴して～

講師 外川 正明さん(京都教育大学名誉教授)

### ⑤実施状況

2022年は、全国水平社創立(1922年3月)から100年です。今大会は、「人権の歴史を学び 今に生かす」のテーマのもと、すべての人の幸福を願う社会の実現をめざして差別と向き合い、差別解消のために立ち上がった人々の生き方を学び、差別を許さない社会づくりのためにできることを市民の皆さんと一緒に考えました。

基調講演では、「部落差別解消推進法が求めていること」「部落史の研究が提起したこと」「生徒のいじめ体験から教えられたこと」「DVD『水平社を立ちあげた人々』に込めた思い」についてお話いただき、差別解消のために立ちあがった人々の強い意志を深く学ぶことができました。

コロナ禍での開催のため、分科会は開催せず、講演会のみとしました。また、参加要請人数は例年の半数にしましたが、当日、主体的に参加された人も多くありました。

今後、より多くの市民の皆さんが参加できる場づくりを考えながら、人権尊重の住みよい地域づくりに努めていきます。

## 2 専門部事業

### 1) 保・幼部会

①日 時 2021年10月19日(火) 18:30～20:00

②場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール

③参加者 43人

④テーマ 「元気が一番 ～子どもの自尊感情、自己肯定感を高めるために～」

講師 仲島 正教さん(教育サポーター)

### ⑤実施状況

自尊感情(自己肯定感)とは、簡単に言えば「自分が好き」「私もなかなかやれる」と思えることです。長年の教育現場や教育行政での経験から自尊感情は親から愛され、先生や友だちから信頼され、認められることによって育まれるとの観点から、参加者に対して親としての立場、先生方の立場の両方から具体的な事例をあげながら、子どもたちとのかかわり方を示唆していただきました。参加者からは、「明日からの現場ですぐに実践していきたい」、「自分の今までの子どもたちへのかかわり方を振り返る良い機会となった」など多くの肯定的な意見があり、大変有意義な研修となりました。何より、仲島先生が元気に話しかけられる姿に、参加者全員が勇気をいただきました。

## 2) 学校部会

- ①日 時 2021年11月16日(火) 13:30~16:30
- ②場 所 篠山東中学校1年教室
- ③参加者 45人
- ④テーマ 「対話を通して生き方について考えを深める道徳科の授業」  
講師 春川 政信さん(三木市人権・同和教育協議会)
- ⑤実施状況(篠山東中学校道徳研究授業及び講演)

「対話を通して生き方について考えを深める道徳科の授業」をテーマに2年間、篠山東中学校区で道徳授業の研究を進めてこられました。今回は、参加者のみなさんに中学校の道徳授業を参観していただいた後に、人権教育の視点から、授業づくりのポイントや生き方を深める授業づくりについてご講演いただきました。参加者の多くは小学校、中学校、高等学校の先生方であり、それぞれの教育現場でこれからの教育に活かしていくことができる内容の研修となりました。子どもたちがいじめや差別に気づき、差別を許さない姿勢を身につけることの重要性を訴えられました。このような内容を自身の教諭、管理職時代の経験から、子どもの発言をより具体的に提示され、非常にわかりやすい講演、また、笑顔あふれるパワフルな講演でした。子どもに寄り添い、子どもと一緒に人権について考えたい研修でした。

## 3) PTA部会

- ①日 時 2022年1月23日(日) 13:30~15:00
- ②テーマ 「ウィズコロナ時代の保護者のあり方」  
講師 原 清治さん(佛教大学 副学長)
- ③実施状況  
上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 4) 障がい者部会

### 啓発チラシ配布活動

本年度も啓発チラシの手渡しによる配布はコロナ禍のためにできなかったため、関係機関や協力店にチラシを設置し、来訪者各自で取っていただく方法をとりました。

- ①日 時 2021年11月下旬~12月上旬
- ②設置場所 ・丹波篠山市役所・各支所・各公民館・各ふれあい館・県立高校  
・中央図書館・市民センター・ハートピアセンター  
・JA丹波ささやま各金融機関・中兵庫信用金庫各店  
・社会福祉協議会・障害者福祉協議会「ふれんどりー」各作業所等  
43ヶ所に設置しました。
- ③キャッチコピー 「みんなが主役！十人十色のすてきな個性」

## 5) 男女共生部会

- ①日 時 2021年11月15日(月) 13:30~15:00
- ②場 所 西紀老人福祉センター 多目的ホール
- ③参加者 11人
- ④テーマ 「ジェンダー平等で暮らしやすい地域づくりを！」

講師 北村 久美子さん(生涯学習応援隊 so-so.39)

#### ⑤実施状況

新型コロナウイルスの影響を受け中止となっていた研修会ですが、ようやく2年ぶりに感染予防対策を徹底して開催することができました。

テーマはSDGs(持続可能な開発目標)の目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げ、ジェンダー平等で暮らしやすい地域づくりを考える内容となりました。

まず、男女共同参画とは性別による特性を生かしつつ、あくまでも個人個人が性別に左右されず自分自身のやりたいこと、やれることを選べる・・・、そしてジェンダーとは、生物学的な性別(sex)に対して、社会的・文化的につくられる男性の役割、女性の役割を意味する言葉として用いる・・・と説明を受けました。自治会などの地域の女性役員は、未だに少数であり、日本のジェンダー平等は、まだまだ遅れていることを指摘されました。

また、今では生物学的にも社会的にも性別は2つではない「LGBTQ」にも触れられ、これからは性的マイノリティに対する理解を深め、多様な人々も安心して暮らせる男女共同参画社会を考えていかなければならないと強く思いました。

研修後半は、講師の北村さんが阪神・淡路大震災の被災者であることから防災ゲーム「クロスロードゲーム」を参加者全員で体験しました。このゲームは災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を共有することが目的で、いろんな防災や多様性の事例に対し自分の考えを「YES」か「NO」のカードで提示し、その理由を意見交換しながら進めていくというものでした。正解はなく、一人一人の考えを話し合いで共有することの大切さを培う新しいグループワークの学習体験ができました。

参加者からは再度の研修を希望する声が多く上がっていました。

#### 6) 宗教部会

①日時 2022年3月3日(木) 13:30~15:00

②テーマ 「古文書に見る丹波篠山の人権の歴史」

講師 今井 進 さん(市同教啓発推進委員)

#### ③実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### 7) 企業部会

①日時 2022年3月8日(火) 18:30~20:00

②テーマ 「古文書に見る丹波篠山の人権の歴史」

講師 今井 進 さん(市同教啓発推進委員)

#### ③実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### 8) 高齢者部会

高齢者の人権学習は、単位老人クラブや自治会との合同で開催されました。内容は、「自分の住む地域のことを知り、考えたい」という願いから、「命を守る防災」「同和問題の現状について」等をテーマとして実施しました。

老人会組織が減少傾向にある中、実施困難なところもありますが、他地域の老人会組織と合同で開催される等、工夫をしながら意欲的に取り組まれました。実施した学習内容と会場は、資料として添付しています。

## 9) 地域部会

- ①日 時 2022年3月1日(火) 19:30~21:00
- ②テーマ 「丹波篠山の戦前から戦後にかけての在日の歩みを知る」  
講師 「丹波篠山市在日コリアン足跡調査研究・銘板設置の会」
- ③実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 3 啓発推進委員会

啓発推進委員会においては、これまでの調査研究活動の成果を講師・ゲストティーチャーとして、市同教の諸部会や学校教育、外部の人権関係団体の学習・研修に取り組みました。教育・啓発活動へのより効果的な取組や様々な学習・研修依頼に対応できる組織を検討しました。

## 4 人権・同和教育セミナー2021

本年度より、「人権尊重のまち丹波篠山市」をめざして、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講しました。会報で広く市民に参加者を募りました。また、学校教職員や行政職員の参加も募りました。

### 1) 第1回 人権・同和教育セミナー

- ①日 時 2021年 7月24日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「差別とは ~差別の現状と課題~」
- ③講 師 細田 勉さん(関西学院大学講師)
- ④参加者 56名
- ⑤実施状況

インターネットを中心に、今も起きている部落差別の現状を紹介いただき、他方で見ようとしない、見えにくくなっている部落差別の事例も取りあげられました。また、被差別部落は一律的なマイナスのイメージがありますが、それぞれの部落には創造性豊かに生きてきた様々な生活や歴史、文化があると語られ、正しい出会い直しをしてほしいと訴えられました。

### 2) 第2回 人権・同和教育セミナー

- ①日 時 2021年10月 2日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「丹波篠山 人権の歴史  
古文書に見る丹波篠山の人権の歴史 差別と闘った先人に学ぶ」
- ③講 師 今井 進さん(丹波篠山市部落史研究会)
- ④参加者 62名
- ⑤実施状況

古文書から近世の身分の階級制度やその差別、当時の生活の様子などを読み解き差別と立ち向かった人々の生き方をお話しいただきました。

### 3) 第3回 人権・同和教育セミナー

- ①日 時 2021年11月 3日(水) 14:00~16:00
- ②テーマ 「人権の歴史1 中世~近世 部落差別の発生と制度化」
- ③講 師 上杉 聡さん(元大阪市立大学教授)
- ④参加者 62名
- ⑤実施状況

「土農工商」という身分制度ではなかったことを話され、今までの歴史学者の間

違いを指摘され、部落はその「最底辺」ではなく、「社会外」を意味するものとして起源をもつことや、中世の身分制度の構造などを語られました。

#### 4) 第4回 人権・同和教育セミナー

- ①日 時 2021年11月20日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「人権の歴史2 明治維新~現代 差別が残された構造」
- ③講 師 上杉 聡さん(元大阪市立大学教授)
- ④参加者 57名
- ⑤実施状況

明治4年の「賤民廃止令」は、差別を無くそうとする解放令ではなかったことを、様々な資料をもとに実証され、また身分を戸籍制度によって管理されていた実態を説明いただきました。

#### 5) 第5回 人権・同和教育セミナー

- ①日 時 2022年1月29日(土)
- ②テーマ 「差別をなくす主体者として  
部落差別のない社会を~自他ともに輝くために~」
- ③講 師 春川 政信さん(三木市人権・同和教育協議会 副会長)
- ④実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### 5 「みんなの人権を考える」映画会

- ①日 時 2021年8月9日(月) 14:00~16:00
- ②場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③参加者 73人
- ④テーマ ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくおねがいます。」

この映画は、娘であるテレビディレクターが、認知症を抱えた自らの母親と、その母親を支える父親をとらえたドキュメンタリーです。病気に直面し苦悩する母親に、その母親を懸命に支える父親。そしてその姿を記録として撮ることが自分の使命だと娘である監督は思い始めました。介護の厳しさや辛さ、そうした現状をありのままに伝え、他方で日々のちょっとした寄り添う心、つまり監督が言う「両親がお互いを思い合っている」という幸せに気付く、介護に対して希望が持てた映画でした。

映画を視られた方は、「家族だけでなく社会全体で支えていくこと、人として最後まで幸せに生きることなど考えさせられました。」と感想を述べられていました。

#### 6 フィールドワーク

- ①日 時 2021年8月29日(日) 8:30~15:00
- ②コース 城東公民館発→豊林寺→大芋地区 砦石鉱山跡→村雲地区 鳥山鉱山跡  
→明治2年世直し一揆衝突の地→曾地刑場跡→城東公民館着
- ③テーマ 「丹波篠山市内の人権史跡を訪ねて」  
講師 「丹波篠山市同教 啓発推進委員」  
松原 薫さん・今井 進さん・酒井 雅子さん・河南 崇さん
- ④実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### 7 連携推進事業

- (1) 兵庫県人権教育研究協議会・丹波地区同教・丹波市同教との連携

丹波地区人権・同和教育研究協議会の研究大会、役員研修会、啓発冊子編集作業に関わるなど、市域を越えた交流を行い、様々な課題について協議を行いました。丹波市同教とは、交流や情報提供をしながら連携を進めてきました。

(2) 部落解放同盟丹波篠山市支部連絡協議会・部落解放共闘会議との連携  
各種研修会への参加を中心に行いました。

(3) 人権推進課、教育委員会との連携

毎月1回、三者での打ち合わせ会を継続し、研究大会の内容や丹波篠山市の人権課題について協議しました。特にコロナ禍での誹謗中傷等の人権課題について各関係機関での課題について情報交換しました。人権教育の推進や啓発に関わる関係機関として、今後も連携を密にして進めていきたいと考えています。

(4) その他

人権関係団体との連携

## 8 研究大会・研究集会への参加

(1) 第68回兵庫県人権教育研究大会中央大会兼丹波地区大会

①日時 2021年9月26日(日) 12:55~16:00

②場所 兵庫県立柏原高等学校

③参加者 丹波篠山市より 実践報告 2名

④新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

但し各地区より実践を持ち寄り実践報告集を発行しました。丹波篠山市からは「人権感覚の素地を培う保育・教育」の分科会発表として、森田有希さん(丹波篠山市立古市幼稚園)の「互いに認め合い、共に育つ仲間づくり～身近な自然や人とのかかわりを通して」と「人権文化の創造」の分科会発表として、今井進さん(部落史研究会 ささやま)の「古文書から学ぶ人権の歴史」を紙上発表しました。なお、今井進さんの発表は、「全人教の報告集」に兵庫県からのレポートとして掲載されました。

(2) 部落解放研究第54回全国集会

①日時 2021年11月9日(火)~10日(水)

②場所 北九州市

③新型コロナウイルス感染拡大防止のため録画配信を視聴  
《11月9日(火)~30日(火)》

(3) 部落解放研究第42回兵庫県集会

①日時 2021年11月20日(土)

②場所 神戸市勤労会館

③第4回人権・同和教育セミナーと同日開催のため不参加

(4) 第72回全国人権・同和教育研究大会

①日時 2021年11月13日(土)・14日(日)

②場所 新潟県上越市・上越文化会館

③新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
大会報告・資料集の頒布による「書面開催」

(5) 第36回人権啓発研究集会

- ①日 時 2022年2月3日(木)・4日(金)
- ②場 所 和歌山県和歌山市 和歌山県民文化会館
- ③参 加 新型コロナウイルス感染拡大防止のため録画配信を視聴  
《2月8日(火)～22日(火)》

(6) その他

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため研究大会・研究集会に参加することはできませんでしたが、録画配信を視聴したり、報告集を講読し、学びを深めました。

9 会報の発行、ホームページの運用

会報「人権・同和教育だより丹波篠山」を6月・10月・2月の年間3回発行しました。「人権が尊重されるまちをつくろう」「身近な生活の中から学ぼう」をテーマに、6回の編集会議を開催し協議しました。分かりやすく、読みやすい紙面になるよう、工夫しました。

ホームページでは、総会資料、会報、専門部会情報、市同教の事業(映画会、フィールドワーク、セミナー等)を掲載しております。また、緊急の連絡もいたします。

ホームページアドレス <http://t-s-doukyou-hr.jp>

10 市民への学習支援

コロナ禍のために機会は少なかったのですが、求めがあれば、講師紹介や参考資料の紹介等、各団体の研修や個々の学習を支援しました。

11 図書・出版物の紹介

図書・出版物を購入し閲覧しました。



## 2022年度 基本方針並びに活動方針・事業計画

### 基本方針

1. 我が国の社会に今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の幸せにつながる「人権のまちづくり」を推し進めます。
2. 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」等人権関係法令の趣旨を踏まえ、人権確立をめざす個人、団体、機関等と広く連帯し、差別のない共に生きる社会をめざします。
3. 人権・同和教育の学習活動の場を充実し、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・世間づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会をめざします。

### 活動方針

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会は、発足以来「差別の現実深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。日本国憲法の基本的な人権尊重の精神や「世界人権宣言」の基本理念が、人権尊重の精神を大切にしたい社会づくりの理念の浸透に大きな役割を果たしてきました。また、今年は差別からの解放を実現するための全国水平社が創立されて100周年にあたります。「水平社宣言」は日本初の人権宣言といわれ、人権問題の克服に向けた原点であり「社会と向き合う指針」となっています。

しかしながら、私たちの社会は、高度情報化、少子高齢化、産業構造の変化やそれに伴う経済格差の拡大等々多くの問題を生じ、その結果、人間関係の希薄化や地域内での連帯感の欠如を生み、他人の痛みに関心になるなど人権に関わる大きな問題を発生させてきています。また、認知症への無理解や偏見、子供や若者の貧困、「ひきこもり」に関わる問題、LGBTQ+など性的マイノリティーへの無理解、ヤングケアラーの問題など。また、ネット社会の到来は、世界を急速に結び付けて情報の拡散と交信を促進させましたが、同時に差別、偏見、憎悪なども増幅させ、新たな人権問題を起こしています。

さらに、一昨年からの世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、新たな差別を生むなど人権に関わる問題を提起するとともに、人々の生活や経済活動の変化をもたらした経済的な困窮の問題も生じてきました。また、今私たちは、気候変動や差別・貧困・人権問題等多くの地球的課題を抱え、次の世代に繋いでいくためにもSDGs（持続可能な開発目標）の推進に取り組まねばなりません。また、今、ウクライナへの軍事侵攻がなされています。私たちは、「戦争は最大の人権侵害」の立場から一刻も早い戦争終結を願います。

いま私たちの周りには、このような多くの課題がありますが、まず私たちの人権意識を点検し、人権意識を高め、人権意識豊かな個を確立するとともに、人権意識の高い社会を作ることが求められています。そのために、人権・同和学習の場を活用し、正しく理解し、「差別を許さず心豊かな市民社会」を実現しましょう。

本年度も、コロナ禍ではありますが、活動や事業の手法を工夫し、市民の皆様と共に、市民一人一人の人権が侵害されることなく、誰もが幸せを実感できる人権を大切にしたいまちづくりを進めます。

丹波篠山市同教は、全市民参加の教育・研究組織として、「人間は尊敬すべきもの」の水平社宣言を大切に、人権課題解消に向け取り組んでまいります。さらなるご理解ご支援ご尽力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 事業計画

1. 第24回丹波篠山市人権・同和教育研究大会の開催 12月11日(日)
  - ・研究大会と人権フェスタとを同一日に開催し、三者(丹波篠山市・市教委・丹波篠山市同教)で連携して取り組みます。研究大会は、田園交響ホールで開催します。
2. 専門部会
  - ・保・幼、学校、PTA、障がい者、男女共生、宗教、企業、高齢者、地域部会の9部会で取り組みを進めます。9分野別に課題と向き合い、テーマを決めて課題解決につながる学びの場を提供していきます。
3. 人権・同和教育と啓発活動、人材育成活動
  - ・各専門部会での研修は、それぞれの場で学びが実践へと発展するよう研修方法を工夫していきます。各団体やグループの研修会・学習会に講師を派遣したり、資料を提供したりして教育・啓発活動を支援します。
  - ・啓発推進委員会では、市内の人権史跡を調査・研究し、教育・啓発資料を作成します。得られた研究成果を様々な学びの場(理論研修、実地研修)で提供していきます。併せて、次世代リーダーの育成のために講座を開講します。
  - ・「人権尊重のまち 丹波篠山市」をめざし、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講します。
4. 「みんなの人権を考える」映画会は「MINAMATA」を上映します。 8月11日(木・山の日)
5. 市同教フィールドワークを実施します。 8月28日(日)
6. 連携推進
  - ・部落解放丹波篠山市民共闘会議との連携
  - ・丹波地区同教、兵人教との連携
  - ・市行政(人権推進課)、市教委、各団体との連携
7. 各研究大会・研究集会へ積極的に参加し、実践交流を図り、市の人権啓発活動に反映させます。
  - ・第69回兵人教丹波地区大会 7月30日(土) 四季の森生涯学習センター
  - ・第69回兵人教中央大会 9月24日(土) 尼崎市
  - ・人権啓発研究第43回兵庫県集会 未定
  - ・部落解放研究第56回全国集会 11月15日(火)～16日(水) 米子市
  - ・第73回全国人権・同和教育研究大会 11月26日(土)～11月27日(日) 奈良県奈良市
  - ・第37回人権啓発研究集会 1月19日(木)～20日(金) さいたま市
8. 広報啓発事業
  - ・会報「人権・同和教育だより 丹波篠山」を年3回(6月、10月、2月)発行し、市同教の取り組みの状況を知らせるとともに、日々の生活を見つめ、感動することや不合理に感じることなどを市民で考え合う場となるよう工夫していきます。
  - また、インターネットのホームページ上で人権に関わる様々な情報を市民の皆さんへ提供しています。総会資料、会報、専門部会情報、市同教の予定、関係法等を掲載しています。また、緊急の連絡やセミナーの募集などの情報も提供します。
  - ホームページアドレス：<http://t-s-doukyou-hr.jp>
9. 市民への学習支援
  - ・一人からの学びの要望に応じ、講師や参考資料(図書・出版物等)の紹介等、研修会・学習会の支援(計画から実施)を行います。
10. その他、目的達成に必要な事業